授業展開案

|  |  |
| --- | --- |
| 実施日 | 　　　　年　　月　　日（　　）　　 |
| タイトル | 進路適性検査の結果を見る |
| 具体的内容 | 進路適性検査の結果について、付属の冊子を用いて理解を深める。それぞれの適性から、具体的な職業を考え、それについて発表・交流する。 |
| 学習のねらい | 1. 進路適性検査の結果を用いて、自己の適性や進路について考えるきっかけとする。
2. 進路について考えた結果を相互交流することで、視野を広げる。
3. 発表のワークを通じて、コミュニケーションの自信とスキルをやしなう。
 |
| 場所 |  |
| 役割分担 |  |
| 事前準備 | わくわくアドバイスシート（生徒用）の左側に2穴をあけておく。わくわくアドバイスシート（教員用）は、各担当がファイルに入れて持つ。 |
| 準備 | ワークシート3枚　「わくわくブック」 |

展開例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 展　開 | 解　説 |
| １限目15分 | 準備10分 | WS１と「わくわくアドバイスシート」を配布。順番に少しずつ読んでいくので、いっしょにやっていこうと促す。 |
| 25分 | ワーク１　ワーク２１５分 | 作業のしかたを説明して、順に取り組ませる。机間巡視して、戸惑う生徒にアドバイスする。作業が済んだ生徒には、説明をじっくり読むよう指示する。 |
| 45分 | ワーク３　ワーク４20分 | WS２を配布し、手順を説明して作業に取り組ませる。あとで発表があることを、あらかじめ言っておく。 |

休憩　５分

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ２限目10分 | Ｇワーク準備　１0分 | グループ作り。原則４～５人（３人可、６人不可）。人数は均等な方が進行がしやすい。なるべく男女混合、ランダムに。机を囲むように座る。ＷＳ３を配布し、発表のしかたを説明する。教員がやって見せるとよい。　他の教員は観客役で「こんにちは」の返事、終了の拍手をする。 |
| 35分 | みんなでワーク　20分 | 開始後、机間巡視して、あいさつ・返事、拍手をやるよう促す。残り時間を見て、焦らずにじっくりやらせる。進行が速すぎる班には、ゆっくり進めるようアドバイスする。遅れている班には、早めるようアドバイスする。班人数の差も考えて進行のアドバイスをする。 |
| 45分 | 感想 10分　 | 感想を書いて提出。アドバイスシート（生徒用）は、2穴でファイルに綴じ、右半分は畳折りにさせる。 |

　※授業後、担任ではない科目担当者は、アドバイスシート（教員用）のファイルをホーム担任に渡す。